

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール (1 丁目)

| No. | タイトル | 評価項目 | 自己評価 | 記述 | 運営推進会議で話しあった内容 | 外部評価 | 記述 |
|--------------------------|-----------------|---|--|---|---|---|---|
| I. 理念・安心と安全に基づく運営 | | | | | | | |
| 1 | 理念の共有と実践 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 毎月の全体会議で法人・事業所の理念を全職員で唱和、共有しケアプラン等の支援に繋げている。 | | | 毎月全体会議にて管理者、全職員参加で理念を唱和しケアプランにも活かされていた。 |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 防災訓練で地域の方の参加や中学生の福祉体験で交流ができた。それ以外は感染症対策で地域との交流が困難である為に、事業所の広報やホームページにて地域に取組などを発信している。 | 新型コロナウイルス感染の中で地域との交流は厳しいと思うが、感染対策を行いながら可能な範囲で交流をする。 | | 感染対策を実施しながら中学生の福祉体験の受入を行っていた。 |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 感染症対策で書面にての開催もありましたが、ほぼ予定通り事業所内の開催で事業所活動等を委員の方へ現状報告を行い、意見や助言などをいただいた。委員の皆様からの意見等は全体会議で全職員へ報告し、改善策も協議しサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議で行事・研修・事故などの報告が行っていたので、引き続き現状の体制を維持する。 | | 書面での開催もありましたが、ほぼ事業所での開催で報告が適切に行われていた。 |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 市町村担当とは介護保険関係などの確認を行うため、電話にて連絡をとり相談し助言を受ける。また、市町村担当者が運営推進委員として委嘱を受け会議に参加しており、意見等をいただき協力関係を築いている。 | 市町村との情報共有は現状の通りの体制で維持する。 | | 市町村とは電話で確認、運営推進委員として市町村担当が委嘱されており、協力関係が築かれていた。 |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 身体拘束実施記録はなし。運営推進会議で身体拘束適正化検討委員会を2か月に1回開催。玄関の施錠も夜間帯以外は行わないで支援している。身体拘束研修に参加し理解している。 | | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 身体拘束適正化検討委員会を運営推進会議委員の方も参加され内容が共有されており、職員も身体拘束研修に参加されていた。 |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 虐待防止については、身体拘束適正化検討委員会で取組を報告している。毎月の全体会議や内部研修などで意見交換し意識を高め虐待防止に努めている。 | | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 虐待防止についても身体拘束適正化検討委員会で取組について説明がされており、実践からその様子が窺えた。 |

| | | | | | | | |
|----|--------------------|---|--|--|--|--|--|
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 成年後見人制度を活用している利用者がおり、全体会議の中で成年後見人制度について情報を共有している。 | | | 全職員が全体会議を通して成年後見人制度の情報を共有できていた。 |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用前に家族へ説明を行い疑問や要望等を確認し説明している。契約内容が変更になった時は速やかに家族へ説明し理解していただいている。 | | | 入所前に契約に関する家族への説明は行われていた。 |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 苦情受付責任者や担当者、第三者委員で構成する苦情受付委員会を設置し、直接受付を行っている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 苦情受付責任者や担当者が任命されている。又第三者委員で構成されている法人主催の苦情解決合同委員会を設置し、利用者や家族からの意見、要望などを報告されており、実践からもその様子が窺えた。 |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 毎月の全体会議や週1回の主任会議等にて意見や提案事項について協議している。管理者が勤務日は、職員と面談や出来る限り職員とコミュニケーションを多く取るようにしている。 | | | 管理者が毎月全体会議に参加され、職員から意見などを聞く機会を設け反映させていた。 |
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 外部研修、オンライン研修の参加、資格取得する職員は義務免除扱いで対応、有給休暇等も取りやすい環境に努めている。また年1回の昇給、資格所得した場合の昇給制度がある。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | オンライン研修参加、資格取得の義務免除制度、有給休暇など取得しやすい環境であることが、説明から窺えた。 |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 職員一人ひとりのスキルを考え、外部研修、オンライン研修に参加、内部研修では研修の立案・企画、発表を行っている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 個々に合わせたスキルを考え研修参加、研修の企画・立案などを実践し人材育成に取り組んでいた。 |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 県認知症 GH 協議会に加盟しオンライン研修等に参加。事業所が地区の研修委員であるためオンライン会議に参加し意見交換などの交流をしている。 | | | 県認知症 GH 協議会に加盟しオンライン研修等に参加。相双地区 GH の研修委員であり、他地区の研修委員と意見交換できていた。 |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 本人の希望を確認しながら、出来る範囲で自分の意思で選択できる声かけ、職員本位の介護にならないよう支援している。自分で意思決定出来ない利用者には | | | 運営推進会議にて利用者の身体状態、行事などの報告からも職員と利用者の良好な関係性が窺えた。 |

| | | | | | | | |
|----|------------------|---|--|---|--|--|--|
| | | | | は、可能限り残存機能を活かせる様に支援している。 | | | |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 感染対策で外出制限がある中、美容室は出張サービス利用、入所前の医療機関は継続している。毎月家族へ職員からお手紙(写真付き)、利用者からの年賀状を書いている。字がかけない利用者は職員が代筆している。外出行事は感染対策を徹底しながら馴染みの神社、花見ドライブに出かけている。 | 新型コロナウイルス感染対策で外出機会は減っているが、可能な範囲で現状支援を維持する。 | | 毎月家族への手紙、感染対策を行いながら馴染みの神社など外出していることが窺えた。 |

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

| | | | | | | | |
|----|----------------------|---|--|--|------------------------------------|--|--|
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用開始時やケアプラン見直し時に、本人や家族へ意向確認を行っている。意思確認が困難な利用者の場合は、家族から意見を確認し、全職員で普段の生活の中で発する言葉や表情から本人の思いをくみ取るように努めている。 | | | 意思確認が困難な方からの意向確認は、発する言葉、表情から本人の思いをくみ取っていた。 |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 家族が事業所に来所した時や電話にて意見や要望を確認している。また毎月の全体会議などで意見交換し情報収集しケアプランを作成している。 | 本人や家族からの意見など情報収集は現状の体制を維持する。 | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 毎月の全体会議にて意見交換し情報収集しケアプランを作成ができていた。 |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 毎日生活の様子を観察、気づいた事を記録し、毎月の全体会議にて職員間で情報を共有しケアプランを見直している。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 生活の様子を毎日記録し、毎月の全体会議で個々の状況を職員間で情報を共有していたことが窺えた。 |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 職員の意識が業務優先とならない様に、常に確認を行い、利用者とのコミュニケーションを取りながら、一人ひとりの要望(買い物、ドライブ等)に可能限り対応している。 | 職員本位の支援にならない様に今後も利用者本位の支援を行うようにする。 | | 個々のニーズに合わせてながら、買い物、ドライブなど一人ひとりに合わせた支援を行っていた。 |

| | | | | | | | |
|----|---------------------|--|--|---|--|--|--|
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 感染対策で行動制限があり、上手く活用できていないが、移動販売でパンを購入、好みのお弁当を注文するなど生活を楽しくすることができるよう支援している。 | オレンジカフェなどにも参加する事が出来れば良いが、現状では感染が収束するまでやむを得ない状況である。 | | 感染対策を行いながら、移動販売でパンを購入、好みのお弁当を注文するなど可能範囲で行っていた。 |
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入所後もかかりつけを継続。かかりつけがない場合は家族と相談し医療機関を決めている。 | | | 入所後もかかりつけを継続。又かかりつけがない方は家族と相談しながら医療機関を決めていた。 |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入院時の情報提供や医師からの説明時には家族同意のもと職員も同席している。入院期間中も早期に退院出来るように連携室と情報を共有していた。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入院後も主治医からの説明に職員も家族と一緒に同席する等、情報を共有できていた。 |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入所前に書面にて支援できることやできない事を説明し家族の意向確認をしている。入所後に状態が変わった時は、その都度、本人や家族に意向確認をしている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入所前に重度化した場合、終末期の事を説明し家族から意向確認をしていることが説明からも窺えた。 |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 内部研修にて普通救命講習に全職員参加。急変時など応急処置対応は看護職員から学び実践に繋げている。 | | | 普通救命講習は全職員参加、急変時や応急処置などは看護職員から学び実践に繋げていた。 |
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 日勤帯・夜間帯などを想定し避難訓練は定期的実施。毎月の全体会議にて消防設備の確認、避難誘導方法について全職員で確認している。 | 定期的に消防署立会で避難訓練を実施。職員間でも毎月の全体会議で災害などに対する意識を高めている。地域との協力も非常災害協力員を委嘱し年1回の訓練にも協力が得られている。 | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 非常災害協力員が年1回避難訓練に参加するなど地域との協力体制が得られていた。 |

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

| | | | | | | | |
|----|--------------------|---|--|--|--|--|---|
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 個々の人格を尊重し言葉遣いも丁寧な声かけに努めている。特に排泄時の声かけには注意を払いながら羞恥心に気を付けている。 | | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 排泄の声かけには注意を払いながら気を付けていたが、報告からも時折声かけが不適切な声かけが見られていた。 |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 生活の中で全ての事に対し自己決定が出来るように声かけにて、出来る限り利用者の声を引き出すように努めている。 | | | 生活の中で一人ひとりが自己決定できるように声かけ出来る限り利用者の声を引き出している事が窺えた。 |

| | | | | | | | |
|----|--------------------|--|---|--|---|---|--|
| 28 | 食事を楽しむこと のできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用者の状態に合わせて一緒に食事作りや片付けを行っている。 | | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用者の残存機能に合わせてながら、職員と一緒に食事作りや食器洗いなど片付けを行っていた。 |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 食材やメニューは外部発注で栄養管理。食事形態や水分量などは、個々の状態に合わせてながら提供している。食事量・水分量などは記録しており、受診時に主治医に報告している。 | | | 食材やメニューは外部発注で栄養管理されているが、個々状態(例えば、嚥下機能・義歯有無など)に合わせてながら、食事形態えお工夫し提供していた。食事量・水分量も毎日記録し受診時に主治医に報告していた。 |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 食後は個々の状態に合わせて口腔ケアの介助をしている。義歯や歯ブラシは毎日消毒している。 | | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 個々の状態に合わせてながら口腔ケアの確認や介助など支援を行っていた。義歯や歯ブラシなども毎日消毒するなど衛生管理に気をつけていた。 |
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 毎朝は乳酸飲料を提供、腹部マッサージ、体操などで便秘予防に努めている。日中はほぼ全利用者がトイレで排泄している。 | | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 毎朝は乳酸飲料を提供、体操などを行い便秘予防に努めていた。それでも便秘時は医療機関と相談し下剤で調整していた。 |
| 32 | 入浴を楽しむこと ができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 行事がない時は可能な限り入浴を行っている。体調不良や拒否時には入浴日を変更し対応している。 | | | 行事以外は可能な範囲で入浴支援を行っていた。また体調不良や拒否で入れなかった場合は入浴日を変更していた。 |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 個々の状態に合わせてながら、意思を尊重し本人が休みたい時に休んでいる。日勤帯では体操やレク活動を毎日行い、夜間はゆっくりと眠れる様に支援している。 | | | 個々の状態に合わせてながら、日勤帯は余暇活動に力い入れ、夜間帯は良眠できるように支援していた。 |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 薬は全職員で処方内容、副作用などを確認し情報を共有、医療連携では看護職員とも情報共有し助言などもあり。薬の変更時も記録などで確認している。 | | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 薬が変更になった時は、副作用も含めて記録して全職員間で情報を共有。医療連携では併設事業所の看護職員とも情報共有し助言を得ていた。 |
| 35 | 役割、楽しみごとの 支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 家事活動、読書、習字など個々の生活歴や能力を活かし、役割が持つ生活の中で気分転換が図れる様に支援している。 | 個々の生活歴を職員で把握しており、家事活動、読書、習字など残存機能を活かしながら支援ができている。 | | 個々の生活歴を全職員間で把握し、食事作り、読書など好む活動を支援することで、生活の中に役割や楽しみが持てる様に支援していた。 |

| | | | | | | |
|----|---------------|--|--|---|--|---|
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 感染対策のため通常通りに外出できなかったが、初詣・花見・新緑ドライブなどへ出かけている。 | 行事など恒例な花見ドライブ、初詣など外出支援はできていたが、新型コロナウイルス感染対策の影響で一人ひとりに合わせた家族と地域の人々と協力支援が出来なかった事はやむを得ない。 | 毎年恒例の花見ドライブ、初詣などの外出支援は感染対策を行いながら出来ていた。それ以外個々の外出支援はやむを得ない状況でした。 |
| 37 | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるよう支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用者によっては居室にて金銭を所持している。中には自分で買い物時に職員付き添いで支払いを行っている。 | | 数名の利用者が自己管理又は職員の支援を受けながら金銭を所持している。支払い時は職員が支援することで支払いが出来ていた。 |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 電話は難聴もあり聞こえにくい方が多く電話でのやり取りは困難であるが、年賀状などを家族へ書いている。 | | 電話は難聴もあり聞こえにくいので、毎年1回であるが年賀状を家族に送っていた。 |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用者の中には、自宅で使用していた筆筒やテレビ、冷蔵庫などを持ち込んで居心地の良い環境を作っている。共用の空間では、ソファなど自分で好む場所で過ごす事ができる。また掲示板には季節を感じる作品を貼付し居心地の良い空間作りをしている。 | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 数名の利用者は自宅で使用していた筆筒、テレビ、冷蔵庫などを持ち込み自立した生活が出来るように支援していた。共用の空間には毎月職員と利用者で手作りした季節を感じる作品を貼付し居心地を感じる空間作りをしていた。 |

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

| | | | | | | |
|----|----------|--|--|--|--|--|
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 個々の思いや意向を聞きながら確認し一人ひとりのペースの合わせ落ち着いた生活が送れる様に支援している。 | | 日常生活の中で個々の思いや意向を聞きながら、出来る限りの範囲で個々のペースに合わせ、本人主体の生活が出来るように支援していた。 |
| 41 | | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入所前に生活歴などを確認。また入所後の日々の生活の中で会話から思いをくみ取り支援している。 | | 入所前に本人や家族から生活歴を聞き取り、職員間で情報を共有しながら支援している事が報告からも窺えた。 |
| 42 | | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 1日2回のバイタル測定。異常時にはその都度測定し看護職員と医療連携し支援を受けている。 | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 1日2回のバイタル測定を行い、看護職員が毎日確認し助言している。又異常時には医療機関を受診していた。受診時には家族にも状態を報告し、病院にも家族が同席していた。 |

| | | | | | | | |
|----|-----------|---|---|--|--|---|---|
| 43 | 生活の継続性 | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 自分のペースにて居室でテレビ鑑賞、読書などをして過ごしている。意思疎通不可な方は、表情や声かけにて対応している。 | | | 自分のペースに合わせて居室でテレビを観たり、読書をしたり本人の好む生活をしている。意思疎通不可な方は、表情や声かけにて個々に合わせて支援していた。 |
| 44 | | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 仏壇や筆筒、家族写真などを居室においている。 | | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 仏壇や筆筒などを自宅から持参。又は家族写真を居室に置いていた。 |
| 45 | | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる | A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 感染対策で地域での祭りなども中止などになり参加はできなかったが、初詣はなじみの神社に出かけることができている。 | 新型コロナウイルス感染対策で祭りが中止や参加する事ができなかったが、初詣など個々のなじみの神社へ出かけていることが出来たので良かった。 | | 新型コロナウイルス感染対策で地域の祭りなどイベントが中止となり参加することは困難であるが、出来る範囲で初詣でなじみの神社へ出かけていた。 |
| 46 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 個々の状態に合わせてながら職員と一緒に家事活動などを行い、中には毎日日課として調理や洗濯物たたみを行っている。 | | | 本人の得意なこと、不得意なことを理解し、個々に合わせた役割を見つけ、楽しみながらできるように家事活動、余暇活動などを支援していた。 |
| 47 | | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 職員と一緒に畑で野菜作り、花植えなどを季節に合わせてながら行っている。 | | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 職員と一緒に畑で野菜を作り、収穫をして調理を行っていた。また季節に合わせて花植えを行い、利用者と会話う楽しみながら支援していた。 |
| 48 | | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている | A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 感染対策で地域との交流は殆どなく経過していたが、中学生との職場体験では感染対策を行いながら交流を行っている。 | 感染対策で地域との交流は殆ど厳しい状況ではあるが、対策をしながら中学生の職場体験を受入交流出来ていたことは良かった。 | | 感染対策を行いながら中学生の職場体験を受入、利用者との交流が出来ていた。 |
| 49 | 総合 | 本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 個々の残存機能を活かしながら、思いに寄り添い、傾聴することを大切に信頼関係を築きながら、安心して生活が出来るように支援している。 | 感染対策で地域との交流は厳しい状況であるにも関わらず、可能な範囲で季節の行事などで外出支援、個々の状態に合わせてながら、思いに寄り添い安心して生活できるように支援していた。 | A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 感染対策を徹底しながら個々の残存機能を活かしながら、傾聴を大切に利用者を信頼関係を築けるように努めていることが実践からもその様子が窺えた。 |